

令和8年4月15日

件名 岩国基地における空母艦載機着陸訓練（FCLP）に関する要請結果について

概要 本日（15日）、岩国市及び岩国市議会、山口県基地関係県市町連絡協議会（構成自治体：山口県、岩国市、柳井市、周防大島町、和木町）として、防衛省及び外務省に対し、下記のとおり要請しましたので、その内容をお知らせします。

記

1 防衛省への要請結果

- (1) 日時 4月15日(水) 16時55分～17時10分
- (2) 場所 防衛省
- (3) 相手方 防衛大臣 小泉 進次郎（こいずみ しんじろう）
- (4) 要請者 岩国市・岩国市議会
岩国市：市長 福田 良彦（ふくだ よしひこ）
岩国市議会：議長 片岡 勝則（かたおか かつのり）
山口県基地関係県市町連絡協議会
岩国市：市長 福田 良彦（ふくだ よしひこ）
山口県：総務部理事 相本 孝行（あいもと たかゆき）
※ 協議会構成自治体を代表して県・岩国市が要請
- (5) 要請内容 別紙要請書のとおり

(6) 国への要請及び国からの回答【概要】（主な発言のみ）

【要請】

(福田市長)

- 本市は、これまで国の外交・防衛政策には理解と協力をするというスタンスであるが、「激しい騒音をもたらすFCLPを、岩国基地で実施することは容認できない」ことを、基地政策の基本方針としており、この訓練を、岩国基地で実施しないよう、これまでも強く要請してきたところである。
- それにもかかわらず、昨年9月、25年ぶりに、岩国基地では実施されていなかったFCLPが実施された。
- 私自身も、昼夜この訓練を視察し、基地周辺住民が受ける激しい騒音を体感したが、連日、騒音に苦しむ市民から、1,064件もの多くの苦情が寄せられた。
- FCLPによる激しい騒音が、住民生活に極めて大きな影響を与えたと言わざるを得ない結果となったことは、誠に遺憾である。
- 訓練が終了した後も、岩国基地でFCLPを実施しないよう、繰り返し要請したところである。

次頁に続きます

- 例年、5月頃に空母が出港するのに合わせて、F C L Pが実施されることを踏まえると、再度、岩国基地でF C L Pが実施されるのではないかという、市民の不安が高まっている。
- ついては、国においては、昨年のF C L Pがもたらした基地周辺住民への多大な負担を重く受け止めていただき、
 - ・今後、激しい騒音をもたらすF C L Pを岩国基地において二度と実施されることのないよう、米側に求めるとともに、そのためのあらゆる手段を講じること。
 - ・岩国基地をF C L Pの予備施設指定から除外すること。以上、改めて強く要請する。

(片岡議長)

- 岩国市議会においても、多くの市民に耐えがたい苦痛と不安を与えるこの訓練を岩国基地で実施することは到底容認できないことを、これまで累次の機会でも表明してきた。
- 昨年9月25日にも、「岩国基地における米空母艦載機着陸訓練に関する意見書」を決議し、国へ提出したところである。
- 国におかれては、あらゆる措置を講じ、今後岩国基地において、激しい騒音をもたらすF C L Pを実施されることのないよう、改めて強く求める。

(小泉防衛大臣)

- 米空母艦載機着陸訓練（F C L P）は、空母艦載機のパイロットが着艦資格を取得するため必要不可欠な訓練であり、我が国の防衛や地域における米国の抑止力・対処力の強化のため、非常に重要な意義がある。
- 昨年9月の岩国飛行場におけるF C L Pの実施に対する皆様方からの厳しいご意見については、重く受け止めている。
- 防衛省としては、岩国飛行場周辺における騒音軽減は重要な課題であると認識しており、地元の皆様の負担が軽減されるよう、恒久的な施設が完成するまでの間は、F C L Pを硫黄島で着実に実施するよう、引き続き米側へ求めてまいらる。

【質疑】

(福田市長)

- 硫黄島での実施を米側に求めていくという話だが、硫黄島の噴火状況、また施設復旧の進捗については、本市としても注視してきたところである。
- 国において、これまで施設の早期復旧に取り組まれてきたと承知しているが、近々、次回のF C L P実施が見込まれる中、硫黄島はF C L Pを実施できる状態にあるのか、現状をご教示ください。

(小泉防衛大臣)

- 昨年9月の硫黄島における噴火活動の影響については、先月、日米硫黄島合同慰霊追悼顕彰式等に出席した際、私は硫黄島の現状を確認してきたが、滑走路地区につ

いては利用可能であり、現時点では自衛隊の活動に大きな影響が出ている状況ではない。

- また、硫黄島の噴火活動については、引き続き警戒及び注意が必要であるが、昨年9月に噴火が発生した火口付近においては、現在、噴火が継続している状況にはない。
- こうした状況も踏まえ、防衛省としては、FCLPを硫黄島で着実に実施するよう、引き続き米側へ求めてまいる。

(片岡議長)

- 恒久的なFCLP施設として、馬毛島の自衛隊施設を整備中であると承知している。
- 早期の運用開始を目指し、最低限必要な施設については、先行して完成させる考えであるということも、以前、お聞きした。
- 馬毛島でのFCLP早期開始に向けた整備進捗について、現状をお示してください。

(小泉防衛大臣)

- 馬毛島における施設整備の状況については、現在、陸上工事では、建築物の本体工事や滑走路の舗装工事を進めているところであり、海上工事では、係留施設の本体工事等を行っている。
- 昨年12月には管制塔が完成し、本年3月には通信局舎が完成するなど、着実に工事を進めているところである。
- 馬毛島の事業全体の完了は令和12年3月末となる見込みであるが、FCLPの開始を含め、早期の運用開始を目指し、最低限必要な施設については先行して完成させる考えである。
- 運用開始時期の見通しについては、現時点で確定的なお答えができる段階にはないが、早期の運用開始に向けて、引き続き施設整備を進めてまいる。

(福田市長)

- 繰り返しとなるが、昨年9月に岩国基地で実施されたFCLPが、市民生活に与えた影響は、大変大きなものだった。
- 絶え間ない激しい騒音に対し、市民からは、訓練の期間中だけで千件を超える苦情をいただき、「子供が寝る時間なのに、騒音が続いている」、「夜勤なのに眠れない」、「お年寄りが休めない」など、騒音に苦しむ切実な声が、多数、市に寄せられた。
- 国においては、こうした地元住民の声に対して、真摯に耳を傾けていただき、今後二度と、岩国基地でFCLPが実施されることのないよう、改めて強く求める。

(片岡議長)

- ただいま市長も申したとおり、国におかれては、昨年岩国基地で実施されたFCLPが、岩国市民に与えた負担の大きさを、重く、しっかりと受け止めてください。
- 市民からの負託を受けた我々市議会としても、今後二度と、FCLPが岩国基地で

次頁に続きます

実施されることのないよう、改めて、強く求める。

(小泉防衛大臣)

- 防衛省としては、岩国市をはじめ地元の方々から騒音に関する厳しいご意見をいただいていることを改めて重く受け止めている。
- 米空母艦載機着陸訓練（FCLP）の実施については、米側に対し、恒久的な施設が完成するまでの間は、硫黄島で実施するよう強く求めるとともに、引き続き、地元の皆さまと意思疎通を密にしながら、真摯に対応してまいります。

2 外務省への要請結果

(1) 日 時 4月15日(水) 14時20分～14時40分

(2) 場 所 外務省

(3) 相手方 外務大臣政務官 大西 洋平(おおにし ようへい)

(4) 要 請 者 上記1の要請者と同じ

(5) 要 請 内 容 上記1の要請内容と同じ

(6) 回 答

- 本日頂いた要請について、米空母艦載機着陸訓練（FCLP）は、我が国の防衛や地域における米国の抑止力・対処力の強化のため、重要な訓練であると認識している。
- 岩国市の皆様には既に大変な御負担をおかけしている中、追加的な騒音を伴うFCLPは、本来であれば、硫黄島で実施すべき訓練である。昨年9月は、硫黄島の噴火という特殊な状況の中で、米側にとっても苦渋の決断として岩国飛行場で実施せざるをえない事情があったと承知している。
- 岩国飛行場周辺における騒音軽減は重要な課題であると認識しており、地元の皆様への影響が最小限となるよう、外務省としても、防衛省と緊密に連携し、FCLPを硫黄島で着実に実施するよう改めて米側に求めていく。

担当

岩国市総合政策部基地政策課 TEL 0827-29-5024 FAX 0827-21-3572

岩国市議会事務局庶務課 TEL 0827-29-5190 FAX 0827-21-1001

岩国基地における空母艦載機の着陸訓練に関する要請書

本市は、激しい騒音をもたらす空母艦載機の着陸訓練（FCLP）を岩国基地で実施することは容認できないことを基地政策の基本方針としており、これまでも繰り返し要請してきた。

これにもかかわらず、昨年9月、平成12年9月以来、岩国基地では実施されていなかったFCLPが実施され、住民生活に極めて大きな影響を与える結果となったことは誠に遺憾である。

本市としては、訓練が終了した後、強く抗議したうえで、今後いかなる理由があろうとも岩国基地でFCLPを実施しないよう、国から米側に求めるとともに、そのためのあらゆる手段を講じるよう要請してきたところである。

例年、5月頃にFCLPが実施されていることを踏まえると、本年もその時期が迫り、再度、岩国基地でFCLPが実施されるのではないかとの市民の不安が高まっている。

また、市議会においても、多くの市民に耐えがたい苦痛と不安を与えるこの訓練を岩国基地で実施することは到底容認できないことを、累次の機会で表明してきた。

については、国において、次の事項について確実に対応されるよう、改めて強く要請する。

記

1. 今後、激しい騒音をもたらすFCLPを岩国基地において二度と実施されることのないよう、米側に求めるとともに、そのためのあらゆる手段を講じること。
2. 岩国基地をFCLPの予備施設指定から除外すること。

令和8年4月15日

防衛大臣 小泉進次郎様
外務大臣 茂木敏充様

岩国市長 福田良彦
岩国市議会議員 片岡勝則